

平成 17 年度花壇管理状況

梶川修*、土井環

平成 17 年度は、大温室横花壇、芝生北花壇でガーデニングおすすめ品種展示花壇を設置した。昨年度行った花苗と球根の同時植栽も引き続き実施した。また、今年度からかん水管理を従来の委託管理から自主管理とした。その他の花壇は従来どおりの方法で植栽を行った。表 1 に花壇植物植栽状況を、図 1～4 に各花壇の植栽デザインを示した。

平成 18 年 3 月には、新規花壇を大花壇の南側とカスケード池の南側に各 1 ケ所ずつ追加開設した(図 5)。

ガーデニングおすすめ品種展示花壇の継続設置

今年度は、芝生北花壇、大温室横花壇の 2 花壇において、3 社の種苗会社と共催で、家庭園芸に向く品目を中心に、植栽展示を行った。

球根(チューリップ)の株間植付の実施

例年パンジーは秋から翌春まで植栽が可能な花壇の主力品目である。昨年度行ったチューリップの株間植え付けを、今年度も大花壇 11 月中旬植付のパンジーの株間に植栽本数の同数にあたる 36 球/m²を植えた。

新規花壇の開設

今回新たに追加した花壇は大花壇南側の中花壇 63 m²とカスケード池下花壇 38.5 m²の 2 か所で、ゲートから大温室へつながる面的広がりとうちした花苗の植栽による美的効果を演出する目的で整備した。本格的な植栽は平成 18 年度から行う。

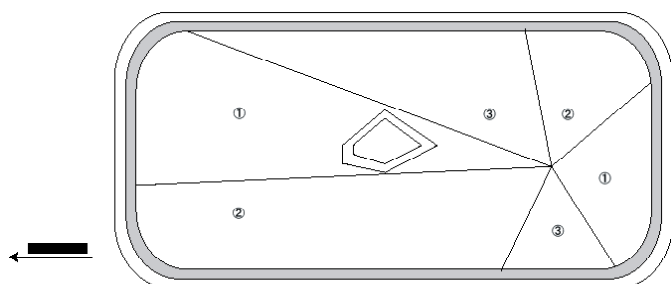


図 1. 大花壇

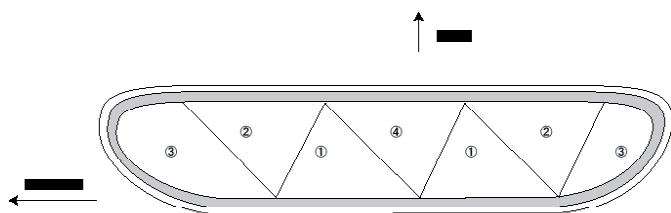


図 2. 小花壇

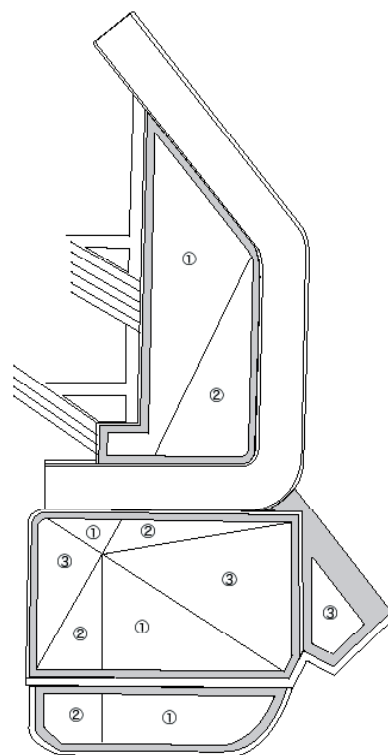


図 3. カスケード前花壇

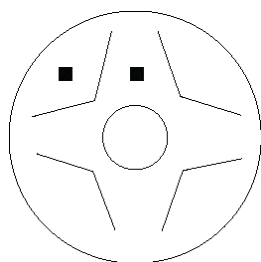


図 4. 花時計花壇

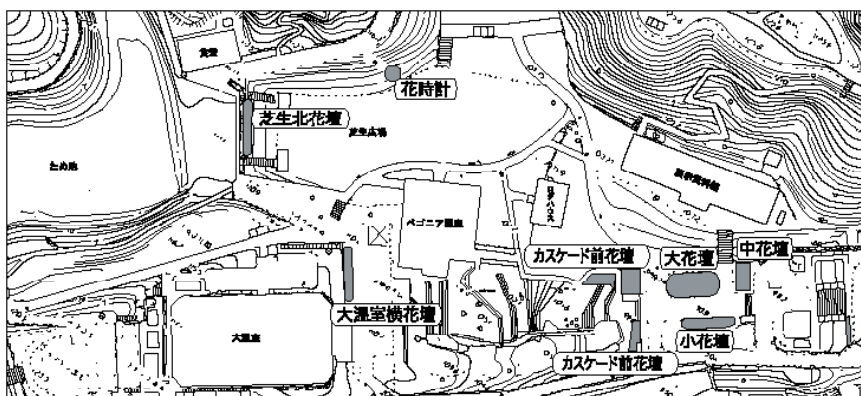


図 5. 園内花壇位置図

*現農林水産振興センター

表 1. 平成 17 年度花壇植物植栽状況

花壇名	初夏	夏	秋	冬	早春
大花壇	ベゴニア・センパフローレンス 赤① ベゴニア・センパフローレンス 桃② ベゴニア・センパフローレンス 白③ (5月13日植え付け)	フレンチマリーゴールド 橙① " 黄② コリウス 緑③ (7月15日植え付け)	サルビア・ファリナセア 青① サルビア・スプレンドゥス 赤② サルビア・ファリナセア 白③ (9月16日植え付け)	パンジー・チューリップ 黄・赤① ハボタン 赤・白② パンジー 橙③ (11月19日植え付け)	アイスランドポビー 混合② (2月24日植え付け)
	ヒポエステス 桃① ベゴニア・センパフローレンス 桃② ピンカ 赤③ ベゴニア・センパフローレンス 白④ (5月13日植え付け)	コリウス 緑① フレンチマリーゴールド 黄② ジニア 象牙③ フレンチマリーゴールド 橙④ (7月15日植え付け)	サルビア・ファリナセア 青① サルビア・スプレンドゥス 赤② サルビア・ファリナセア 白③ アキランサス 緑④ (9月16日植え付け)	ハボタン 白① ハボタン 赤② パンジー 黄③ デージー 桃④ (11月19日植え付け)	アイスランドポビー 混合① アイスランドポビー 混合② (2月24日植え付け)
カスケード前	ベゴニア・センパフローレンス 赤① ベゴニア・センパフローレンス 桃② ベゴニア・センパフローレンス 白③ (5月13日植え付け)	フレンチマリーゴールド 橙① フレンチマリーゴールド 黄② コリウス 緑③ (7月15日植え付け)	サルビア・ファリナセア 青① サルビア・スプレンドゥス 赤② サルビア・ファリナセア 白③ (9月16日植え付け)	パンジー・チューリップ 黄・赤① ハボタン 赤・白② パンジー 橙③ (11月19日植え付け)	アイスランドポビー 混合② (2月24日植え付け)
	大温室横 ガーデニング おすすめ 品種展示	ベチュニア 3品種 (5月14日植え付け) ニューギニアインパチェンス 2品種 ベゴニア・タブレット 4品種 ダブルインパチェンス・カメオ 6品種 (6月11日植え付け)			パンジー 7品種 (11月28日植え付け)
芝生北	インテンシア 3品種 スコパリア 1品種 ニューギニアインパチェンス 4品種 ピンカ他 9品目 79品種 (6月24日植え付け)			パンジー・チューリップ 2品種 (12月3日植え付け)	
花時計	ベゴニア・センパフローレンス 赤① ベゴニア・センパフローレンス 白② (5月13日植え付け)				チューリップ 赤① パンジー 水色② (3月24日植え付け)
中花壇					パンジー 混合 (3月31日植え付け)
カスケード池下					チューリップ 赤 パンジー 混合 (3月31日植え付け)

栽培管理状況

ベゴニア・センパフローレンスは、花付き、株張りともに良く、初夏の定番植物となっている。当初計画より更新を半月延長したが、7月上旬の降雨の影響を受け傷んだため、7月中旬に更新した。

ピンカの生育は良好で更新時にもほとんどの株が開花継続中であった。

マリーゴールドは、例年植栽中期にハスモンヨトウの発生が見られるが、今年度は発生は少なく、8月中旬に1回薬剤散布を行い防除した。

サルビア・スプレンドゥス、サルビア・ファリナセアは更新時期直前の11月上旬に菌核病の発生で、1週間の間に約2割の株が枯死した。応急の対策としてトップジンM1,000倍液を土壌かん注(3ℓ/m²)した。ガーデニングおすすめ品種植栽花壇は、昨年同様、多種多様な品目が彩りを与えてくれた。いずれの品目も生育は良好で、特に難しい管理を要するものはなかった。

その他の品目については、苗及び生育ともにおおむね良好であった。個々の生育状況は、表2のとおりである。

表 2. 平成 17 年度花壇植物生育状況

植物名	生育状況	評価
ベゴニア・センパフローレンス	期間を通じて良好 7月上旬の降雨による傷み	○
ヒポエステス	発色良 観賞期間長い	○
ピンカ	良好、更新時期においても開花継続	◎
コリウス	初期生育良好、後半徒長する	△
フレンチ・マリーゴールド	高温期に害虫(ハスモンヨトウ)発生	○
ジニア	株による生育のばらつきあるが概ね良好	○
サルビア・ファリナセア	初期の生育は良好。更新時菌核病の発生	○
サルビア・スプレンドゥス	2番花のボリューム感が欠けるが生育は良好、菌核病発生	○
アキランサス	株が小ぶりながらも発色は良好	○
パンジー	開花数、株立ちともに良好	○
ハボタン	立ち枯れ一部発生	○
デージー	生育はおおむね良好、花つきに若干ばらつき	○
アイスランドポビー	生育、株立ちともに良好 華やかさに優れる	◎

◎:有望、○:十分使用可、△:時期、場所を選べば使用可、×:使用不可

まとめ

ガーデニングおすすめ品種花壇は来園者に好評で、家庭園芸の参考になることから、継続して実施する必要がある。

チューリップ球根の株間植栽は、花壇の演出に幅をもたせるユニークな手法である。しかし、春先の天候次第では、次の植物への植え替えが、5月の連休後となり、チューリップの花がらや、古葉が目立ち花壇の美観を損なう。チューリップ球根の株間植栽は、花後の抜き取りが可能となる小面積の花壇で行う等、工夫が必要である。

新規花壇の整備により面的な広がりが生まれたので、これまで以上に色彩豊かな植栽を演出していきたい。